

6月の歳時記(水無月/June)



★ 梅雨入り

6月は北海道除いて梅雨入り。すっぱり梅雨前線に包まれる。雨が長く休みでも外出する気にもなれず何となく気が沈みがち逆に、家の中でたっぷりと充実した時間を過ごすことを考えればそれもまたいいものと思います。何事もポジティブに！

★ 夏の始まりを感じさせる「芒種」

6月6日は、日本の暦「二十四節気」の「芒種(ぼうしゅ)」。稲等穀物の穂先にある針のような突起物を「芒(のぎ)」と言い、この時期、穀物の種をまく頃とされている。現在はずっと早い。また、「蟻螂(カマキリ)生ず」と呼ばれよく見かけようになります。梅雨の花、「紫陽花」が雨に生え最も綺麗に咲く時期です。

★ 6月15日は「暑中見舞いの日」

※1950年6月15日郵便局で初めて暑中見舞いはがきが売り出された日。差出は、小暑(7/7)～立秋(8/7)の前日迄。実際は梅雨明けからお盆の前までが一般的でその後は残暑見舞いとしている。まだ早いですが、この梅雨の時期に夏の便りをしたため始め、想いを込めた暑中見舞いを書くのも素敵な過ごし方では。

★ 身の回りの梅雨対策

※湿気が多い梅雨時期は気温も上昇、食中毒のリスクが高まる時期です！

テーブル上、包丁やまな板、調理用具、スポンジや布巾など特に雑菌がたまり易いものや場所には十分なケアが必要。冷蔵庫の中もこの機会に整理ししっかり掃除。また、浴室・天井や洗面所、洗面台の下も掃除し空気の入れ替も定期的。賞味期限切れや食べ残し、生ごみ等しっかりと管理を行い食中毒の予防を徹底しましょう。**清掃・清潔・除菌！**

1 6月は全国労働安全週間準備月間(本週間:7/1～7)



労働災害防止のために、事業者が労働者の協力の下、マネジメントシステムの基本をなす「計画(Plan)-実施(Do)-評価(Check)-改善(Act)」という一連の過程を確立し、事業場での自主的な安全衛生管理をより一層推進し、安全な職場環境を形成するよう呼びかけています。

製造業災害防止: 機械装置の安全対策、現場作業安全管理の徹底、設備の計画的補修、RAの推進等
共通災害防止: 転倒災害、交通災害、高齢者災害、熱中症等。危険感受性を高める(ゼロ災活動等)

★不安全行動(設備)を見逃さない、しない、させない、放置しない！自分の身は自分で守る！

2 熱中症に注意！



★ 熱中症の注意看板(東西事務所入り口付近)を設置。

当日13時時点の気温・WBGT値・警戒情報を表示。

★ 5月～9月までは、熱中症のリスクが増大します。

蒸し暑いと感じたら、すでに体内は発症の危機にある。

作業環境(炎天下・高温多湿)、健康状態(寝不足・飲みすぎ等)に注意！

要注意者: 高齢者、頑張り屋、まじめ人間、新規雇用者等

★ 作業環境等管理の徹底(管理・監督者の職務)・・・予防・教育の強化

WBGT(暑さ指数)の活用、休憩所の快適化推進、部下の健康状態把握等

※WBGTは、湿度・周囲の熱環境(日射・輻射)・気温の3要素を取り入れた指標です。

指針: 31°C以上/危険 28~31°C/嚴重警戒 25~28°C/警戒 25°C未満/注意

★ 体調不良の申し出や「オヤッ！」と思ったら、迷わず医療機関へ連れて行くこと！

3 梅雨時の安全衛生

(1) **食中毒に注意！** 細菌の繁殖が活発化(腸炎ブドウ球菌、O-157、黄色ブドウ球菌、サルモネラ菌等)

予防: ①菌をつけない(清潔) ②菌を増やさない(冷蔵) ③菌をやっつける(加熱・消毒)

(2) **感電事故に注意！** 汗をかくと体の電気抵抗が少なくなり、感電しやすくなる。

(3) **濡れた床や足場に注意！** 室内でも結露等により通路や階段等濡れている。

(4) **保護具や衣類の不良・不具合に注意！** 保護具の機能低下や作業衣の不衛生に。

(5) **作業行動の省略や手抜きに注意！** 降雨等により省略行為やルール違反が行いがち。

(6) **車の運転に注意！** 降雨時は視界が悪く、特に夕方は事故を起こしやすい。

(7) **紫外線に注意！** この時期の紫外線は特に強く、曇りの日でも多い。

(8) **健康管理に注意！** 高温多湿は、高血圧や心臓病等の生活習慣病の悪化を招きやすい。



ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害

明るい職場 心と体の健康管理

ご安全に！